

愛は南から

好きな気持ちで上達の近道

篠山ジュニアソフトテニスクラブ



篠山ジュニアソフトテニスクラブ。36名の子どもたちと監督、4人のコーチが毎週2回汗を流している

「こいー！」小気味よい声と共に、コーチが打ち出すボールを鋭い軌道で打ち返していく子どもたち。篠山ジュニアソフトテニスクラブでは、毎週2回、篠山小学校に通う児童を中心に町内外から集まった36名の子どもたちが練習に取り組んでいます。

本格的な活動を開始してから5年。毎年のように四国大会や全国大会に出場する選手を輩出し、8月に行われた四国小学生学年別ソフトテニス大会愛媛県予選でも2組が優勝、1組が準優勝するなど同クラブの快進撃が続いています。

初めての全国大会 プレッシャー楽しめた

5月の愛媛県予選で準優勝し、7月に山形県天童市で開催された全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場した西田

美織さん（12歳）と西村留莉さん（12歳）。西田さんは小学3年、西村さんは小学2年から同クラブでテニスを始め、5年生だった昨年からペアを組んでいます。2人にとっては初めての全国の舞台でしたが「プレッシャーがすごかったけど、楽しめた」と笑顔で振り返りました。今は10月に今治市で行われる四国大会でライバルを倒して優勝することを目標に練習に励んでいます。

指導する毛利洋一監督は「テニスが好きだ」という気持ちを持って取り組むことが上達の近道。4人のコーチと声を掛け合いながら好きで続けられる雰囲気作りに取り組んでいる。それがいい結果に繋がっていると思



降雨のため体育館での練習。サーブの指導をする毛利監督

う」と分析。「保護者と一緒に挨拶や返事をしっかり指導することで、チームに家族のような連帯感が出てきている」と話しました。



第14回ミズノ・ケンコーカップ
四国小学生学年別ソフトテニス大会
愛媛県予選

写真左から

6年生女子の部

優勝 西村留莉さん、西田美織さん

4年生男子の部

優勝 植松美多くん、山口朔空くん

3年生以下男女の部

準優勝 岡原未空さん、藤岡杏俐さん